

事務事業評価

令和3年度

担当課 福祉課

基本事項	事務事業名	緊急通報システム			整理番号	1008
	根拠法令等	島原市緊急通報システム事業実施要綱			実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標4 健康で自立と生きがいを支えるまちづくり	予算科目	3 款 1 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規
		施策	施策4-5 いきいきと高齢期を過ごせるまち	事業区分	市民サービス事業	

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化に伴い、何らかの支援が必要な一人暮らし高齢者等が増える中、災害時や緊急時の安全確保、不安解消を図る必要があった。</li> <li>同趣旨の事業として実施してきた県補助事業が廃止されたことからシステムへの移行を行ったもの。</li> </ul>				計画期間	始期	平成	15	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者で、疾病等により日常生活上、常に注意を要する状態にある方、またはそれに準じる方。</li> <li>簡単な操作により第三者に通報できることにより、災害発生時や緊急時の安全を確保し、また不安を解消する。</li> </ul>				終期	令和		年度まで	
	目的達成のための 具体的手段・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置希望者からの申請に基づき、審査を行い委託事業者へ設置を依頼し、運用を図っている。</li> <li>市ホームページや広報しまばら、地域包括支援センター発行の「ちからこぶ」への掲載等による周知、また民生委員に対する福祉サービスの情報提供を行い、希望者の申請から設置に繋げている。</li> </ul>								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	1年度	2年度	3年度			
		①緊急通報システムの登録者数	目標	人	170	170	170			
実績			人	166	161					
達成率	%		97.6	94.7	0.0					
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①周知活動(広報しまばら、ホームページ等への掲載、民生委員への説明)		目標	回	3	3	3			
			実績	回	3	3				
	②		目標							
				実績						

事業費等の推移	年度		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)		3,032	3,123	2,774	3,160	3,097	3,097
	財源内訳	国 県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他	575	593	568	537	576	576
		一 般 財 源	2,457	2,530	2,206	2,623	2,521	2,521
	②従事職員給与費 b1×b2		377	383	377	378	374	374
	従事職員数(人) b1		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	職員平均人件費 b2		7,546	7,663	7,530	7,563	7,482	7,482
事業費合計 ① + ②		3,409	3,506	3,151	3,538	3,471	3,471	

**【1次評価】**

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 民間に実施させることは可能であるが、設置者の費用負担の増加も考慮し、検討すべきである。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 現在、「65歳以上の一人暮らし高齢者」としているが、利用者の平均年齢は85歳と高めであるため、改善の余地はあると思う。	B
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 設置希望者を全て把握することは難しいが、地域包括支援センターや民生委員等とも連携し、設置が必要な方の把握に努めている。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 現在、NTT回線がある固定電話しか対応できないため、携帯電話等でも対応できるシステムが開発されると設置者数は増加すると思われる。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 広報しまばらへの掲載のほか、地域包括支援センターや民生委員等と連携し、周知に努めている。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 広報しまばらへの掲載や、民生委員による周知などの費用が皆無である。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある テレホンサービス事業と類似する部分もあるため、統合なども含め、検討の余地はあると思う。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 対象者へのサービスに偏りはないと思われる。 29年度より委託業者が変わったが、委託料に大きな差はなく、利用料も現時点では概ね適切と思われる。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
<b>判定評点平均（3点満点）</b>			<b>2.40</b>
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

**◎ 総合自己評価（所管部署）**

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	超高齢社会に突入した現在、今後も高齢化率はますます高くなると予測されており、また、家族形態も核家族化が進む中、それに伴い1人暮らしの高齢者等が増加することが予測される。そのため、災害時や緊急時の見守りの必要性が高まると思われるため。 また、費用負担(月額1,518円/単価)に対して、設置者負担月額300円)についても、現時点では概ね適切と思われる。
	今後の課題及び改善策、見直しの状況 (実施上の課題等) 現在、NTT回線がある固定電話しか対応できないため、固定電話がない家庭などの対応について、検討していく必要がある。		
<small>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。            ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。</small>			

**【2次評価】**

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	今後さらに高齢化、核家族化の進展が想定される中、事業自体の必要性はますます高まると考えられるが、テレホンサービス事業の類似部分との統合や、他サービスの利用者負担との公平性を踏まえ、現行2割程度である利用者負担額の見直し検討を行ってほしい。

**【3次評価】**

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input checked="" type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	
		<b>0</b> (千円)